

日本臨床発達心理士会主催・資格更新研修会（全国研修会）のお知らせ  
（研修委員会 特別支援教育小委員会）

2018年6月1日

日本臨床発達心理士会では、2018年8月18（土）、19日（日）の2日間にわたって「特別支援教育」に関する全国研修会を実施します。本研修会は、講義およびワークショップ形式で行う予定です。参加希望者の方は、下記の要領でお申し込みください。なお、参加可能な人数に限りがありますので、ご了承ください。

一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構  
日本臨床発達心理士会幹事長 荘厳 舜哉

タイトル：コミュニケーションと社会的スキルの発達支援

日時：2018年8月18日（10:00～17:00）、19日（9:00～16:00）  
（12時間参加で4ポイント取得可能。2日間の連続参加が原則です）

会場：筑波大学附属大塚特別支援学校  
住所 〒112-0003 東京都文京区春日1丁目5番5号  
[アクセス案内]  
東京メトロ後樂園駅または都営三田線、大江戸線春日駅より徒歩で約12分  
JR飯田橋駅、東京メトロ有楽町線、都営大江戸線飯田橋駅より徒歩で約15分

定員：60名（定員を超えた場合は抽選）

参加費：15,000円（2日間）

参加対象者：保育分野、教育分野、福祉分野の現場で、実際の支援やコンサルテーションに従事する会員

申込期間：2018年6月28日（木）～7月12日（木）

●本研修会で学習できること：

1. 生活の文脈の中で人間関係・コミュニケーションおよび社会的スキルの発達支援をすることの意義
2. 段階的支援スキルの基本的な考え方
3. アセスメント・支援目標の設定・支援プログラムの作成の具体的方法

●研修趣旨：

保育、教育、福祉現場に従事する臨床発達心理士にとって、人の生涯発達を見通し、「かかわる力＝コミュニケーション力」や「人間関係を維持する力＝調整力」をどのように支援していくかは重要な課題である。本研修では、日常生活の文脈や授業の中で、子どもの好む活動を取り入れることによって、人への働きかけの方法（伝達機能）や人間関係を調整する力も含めたコミュニケーションおよび社会的スキルの支援の方法について修得することを目的とする。プログラムとしては、まず、社会性の発達という大きな枠組みからコミュニケーション発達および段階的支援スキルの基本的な考え方を講義によって学ぶ。次に、グループ・ワークショップ形式で、事例に基づき、アセスメント、支援目標の設定、支援プログラムの作成・検討を行う。最後は、グループごとに、ロールプレイによって実際の支援場面をシミュレーションし、支援プログラムの妥当性についてディスカッションする。そして、創造的なコミュニケーション発達支援を目指してアイデアとスキルをブラッシュ・アップする。

## ●研修会コーディネーター

中村 晋(筑波大学附属大塚特別支援学校)

## ●当日のスケジュール

8月18日(土)

- 9:30～10:00 受付
- 10:00～10:10 研修趣旨・研修スケジュールの説明、講師紹介  
(筑波大附属大塚特別支援学校・中村 晋)
- 10:10～11:20 「社会性とコミュニケーションの発達」(山形県立保健医療大学・佐竹真次)
- 11:20～12:00 「スクリプトの作成と段階的援助スキル」(中村 晋)
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00～14:00 ワークショップ1(8名の講師が6～8グループに分かれたワークショップを担当)  
■自己紹介、チーフ決め、段階的支援手続きのシミュレーション、事例対象児の検討と実態把握を行う。
- 14:00～14:15 休憩
- 14:15～17:00 ワークショップ2  
■事例対象児のプロフィールに基づいて、支援目標を設定し、スクリプトの構成について協議する。  
(山形県立保健医療大学・佐竹真次、明治学院大学・宮崎 眞、横浜国立大学・関戸英紀、群馬県みなかみ町立桃野小学校・亀田良一、筑波大学附属大塚特別支援学校・中村 晋・若井広太郎・森澤亮介 以上7名の講師が6～8グループに分かれたワークショップを担当)

8月19日(日)

- 8:45～9:00 受付
- 9:00～12:00 ワークショップ3(8名の講師が6～8グループに分かれたワークショップを担当)  
■スクリプトの決定及びチェック・リストを作成し、段階的支援手続きを検討する。  
■セッション1及び4の仮想データをとる。  
■グループ発表及びシミュレーションの準備をする。
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～15:00 ワークショップ4<グループ発表>  
■グループごとに支援目標及びスクリプト設定の理由を報告し、セッション1及び4の指導場面をシミュレーションする。  
■全体ディスカッション
- 15:00～16:00 全体のまとめ  
■コミュニケーション発達支援の今後の課題について(佐竹真次)

## <参考文献>

※以下の文献を事前読んでご参加いただくと理解がより深まります。

- 長崎・宮崎・佐竹・関戸編著(1998)「個別教育計画のためのスクリプトによるコミュニケーション指導」
- 長崎・宮崎・佐竹・関戸・中村 編著(2006)「スクリプトによる社会的スキル発達支援」川島書店
- 吉井・長崎・宮崎・関戸・中村・亀田・大槻・若井・森沢編著(2015)「社会的ライフスキルを育むソーシャルスキルによる発達支援」川島書店

## 研修会参加申込から参加までの流れ

### 2018年6月28日（木） 申込受付開始

- 臨床発達心理士認定運営機構ウェブサイトの資格更新研修会ページ (<https://www.jocdp.jp/qualifier/workshop-top/>) にある『資格更新全国研修会 WEB 申込はこちら』ボタンをクリックし、オンライン参加登録システムにアクセスします（下記の URL からアクセス可能です）。
- 会員 ID とパスワードでログインし、表示される手順に従ってオンライン参加登録を進めてください。申込後の申込み内容変更、確認も同ページより行えます。
- 参加申込を送信すると、入力されたメールアドレス宛てに申込内容を受信したことを知らせる「仮受付メール」が自動送信されます。本法人のドメイン@jocdp.jp からのメールが受信できるように設定してください。
- 「仮受付メール」が届かなかった場合は、申込みが正しく行われていないか、入力したメールアドレスが間違っているため、再度お申込みください。

#### オンライン参加登録システム

<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/apply/JOCDP>



### 2018年7月12日（木） 申込締切

- 申込者数が定員を超えた場合は抽選を行います。



### 2018年7月13日（金）以降 抽選結果通知（参加費支払方法通知）

- 当選者・落選者ともに、オンライン参加登録の際に入力されたメールアドレス宛に、抽選結果を通知いたします。
- 当選者へは、参加費の支払い方法を合わせて通知いたしますので、指定の期日までに参加費をお支払いください。
- 指定期日までに参加費のご入金が無い場合、当選は無効となり、研修会へはご参加いただけません。
- 当日は受付での参加費のお支払いは一切受け付けません。

※入金者が少ない場合は、落選者の中から追加当選通知を行う場合があります。



### 2018年7月下旬～8月上旬 参加連絡通知

- 参加費の入金を確認いたしましたら、オンライン参加登録の際に入力されたメールアドレス宛に「参加連絡通知」メールを送信いたします。
- 「参加連絡通知」メールをプリントアウトして、研修会当日に受付に提示してください。

## 研修会参加に関する諸注意

### ◇諸注意・参加条件

- 1) 日本臨床発達心理士会の2018年度および以前の会費が未納の方は、研修会に参加いただけません。申込前に「会員情報管理システム<SOLTI>」で確認してください。
- 2) 会場の所在地や経路は、会場ホームページ等で事前に交通経路をご確認の上、お越してください。
- 3) 昼食は予め各自でご用意ください。また、空調に対応できる服装でお越してください。
- 4) 会場内は、禁煙となっております。
- 5) 当日欠席された場合、配布資料の送付はいたしませんのでご了承ください。
- 6) 講義内容、提示教材の撮影、録画、録音は固くお断りします。
- 7) 携帯端末の電源は、講義開始前にお切りください。
- 8) 研修会に関するお問い合わせは、ウェブサイトのお問い合わせフォーム(<https://www.jocdp.jp/inquiry/>)またはメールにて [kenshuu-jacdp@hotmail.co.jp](mailto:kenshuu-jacdp@hotmail.co.jp) にご連絡ください。

### ◇持参するもの

- 1) 臨床発達心理士証 (ID カード) ...受付で提示してください。
- 2) 参加連絡通知...参加受付確認後、メールでお送りします。印刷してお持ちください。

### 臨床発達心理士資格更新研修会等参加記録ノートの廃止について

2017年度より、臨床発達心理士資格更新研修会（全国資格更新研修会、全国大会、支部研修会等）の資格更新ポイントの管理は「会員情報管理システム<SOLTI>」にて行っております。

また、5年毎の資格更新申請も2017年度からは「会員情報管理システム<SOLTI>」よりWEB上で行います。

これまで研修会の参加記録を付けていた『臨床発達心理士資格更新研修会等参加記録ノート』は廃止となりましたので、研修会参加時には、必ず『臨床発達心理士証（以下、IDカード）』を持参してください。IDカードを忘れた場合、ポイントは付与されませんのでご注意ください。

なお、これまで使用していた『臨床発達心理士資格更新研修会等参加記録ノート』は更新申請時にポイントの証明として必要となりますので、捨てずに大切に保管しておいて下さい。

ポイントは研修会参加後、数週間後に付与されますので、「会員情報管理システム<SOLTI>」にログインし、付与されたポイントをご確認ください。



一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構  
日本臨床発達心理士会 事務局  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿 6-20-12 山口ビル 8F  
FAX: 03-6304-5705  
e-mail: [shikaku@jocdp.jp](mailto:shikaku@jocdp.jp)  
<https://www.jocdp.jp/>